

楽しく学べるアイデア集

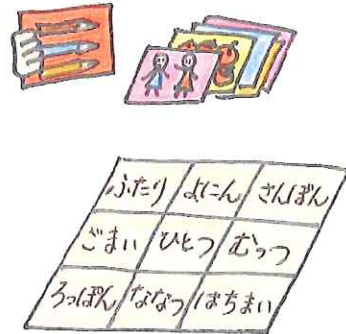
【1】助数詞ビンゴ

⇨ EXERCISES III-a, b, c

助数詞の使い分けを練習する。

紙、傘、ケーキなどの絵をそれぞれ異なる数描いたビンゴ板を作り、教師が3本、5枚、よつつ というように助数詞を混ぜて言う。生徒はどの助数詞を使うのか考えてその絵の上にチップを置く。

また、生徒には「さんぼん」「ごまい」「むつつ」などと文字で助数詞を書いたビンゴ板を持たせ、教師がえんぴつ3本、紙5枚、りんごむつつなどの絵カードを示して、合致すると思う答えの上にチップを置かせる。助数詞「～本」と「～枚」と「～つ」の区別、定着に役立つ。



【2】オークション

⇨ NUMBERS FROM 1,000 to 100,000

アンティークの品や中高生に人気のある品の写真を用意し、模擬オークションを行う。はじめの値段は教師が設定し、それより高く、上限を100,000円として、生徒たちが思い思いに値段をつけていく。きりのいい数字しか出ないようなら、教師が途中で、端数のある値段を適宜、加えていく。発話しない生徒がいたら、「～さん」と氏名したうえで、「いくらですか」と質問し、値段を言わせる。